



基本データ
 ・科名・属名
 スミレ科・スミレ属
 ・形態
 多年草
 ・原産地
 アジア、ヨーロッパ、アメリカなど
 世界各地
 ・草丈
 約5~20cm
 ・開花期
 3~5月
 ・価格の目安
 280円~

「スミレ」

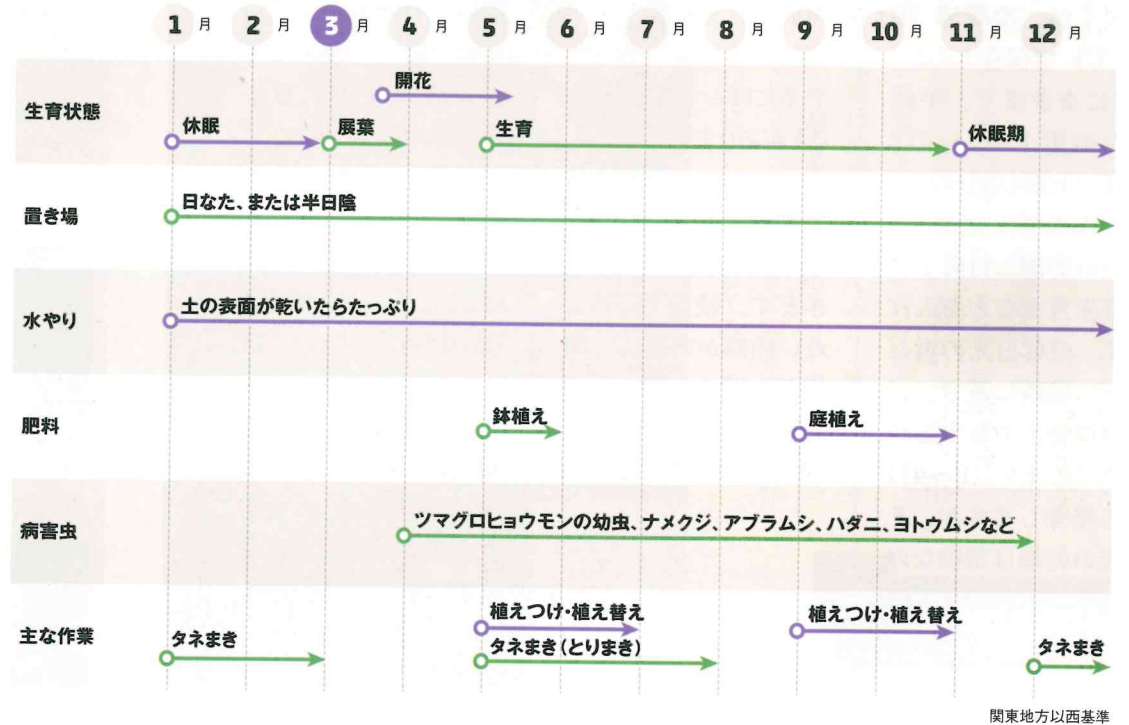
Viola

2018年3月号

管理のポイント

置き場所	スミレは種類によって日なたを好む種類と半日陰を好む種類があります。日なたで葉が黄ばむようであれば、半日陰に移しましょう。下のカレンダーはスミレ(<i>Viola mandshurica</i>)の例です。
水やり	スミレは一年中、適度な湿気が必要です。11月以降冬期は地上部がなくなりますが、冬も用土の湿気を保つようにしましょう。
施肥	肥料は緩効性化成肥料(N-P-K=6-40-6)を鉢植えと庭植え各適期に施します。多肥にすると山野草らしい風情が失われるので年1回でOK。

カレンダー



北国の主な管理・作業



1 北海道地方

春先から夏にかけて野山で野生のスミレを見ることができ、インズミレ、エゾアオイスミレ、オオバキスミレなどは山野草として流通している。鉢植え、庭植えで栽培。
 (北海道大学・星野洋一郎)

2 東北地方(太平洋側)

開花期は4~5月ごろ。夏は半日陰の風通しのよい場所で管理し、水やりは朝に1回程度行う。冬、水は控えめに与えるが、鉢土が乾燥しすぎないように注意する。
 (園芸研究者・阿部文雄)

3 東北地方(日本海側)

ミヤマスミレとタチソブスミレが代表的な原種。開花期は3~5月。梅雨明け後は寒冷紗などで遮光を行い、高温を避ける。冬は枯れ葉を取り除き、水やりを控える。
 (園芸研究者・佐々木秋彦)